

平成30年9月7日

経済産業省

関係団体 御中

9月6日3時08分に発生した、平成30年北海道胆振東部地震を受け、北海道電力管内においては、北海道全体にわたる停電が発生したところ、被害・影響を受けた発電所の復旧を進めております。しかしながら、今なお電力の供給が不足しているため、電力需給が大変厳しくなる見込みです。少しでも多くの地域への電力供給を可能とするため、特に自家発電保有企業はその最大限の活用が、需給上極めて重要であるところ、以下の取り組みをお願いします。

- ① 自家発電に関する情報把握（供給力、自家消費分、逆潮の可否（量）、備考（燃料不足がある場合はその内容等））
- ② 逆潮可能な自家発電（逆潮防止装置が付いていない発電機）への要請
自家発電の出力を最大化し、系統需要に使用するため、生産活動の停止又は低減（人命や被災地支援に影響がないものに限る）を要請
※逆潮：系統への電気の送電
- ③ 逆潮が不可能な自家発電（逆潮防止装置が付いている発電機）への要請
自家発電の出力を最大化し、その範囲内で生産活動を可能な限り行ってもらう（系統電力を活用しないこと）を要請

政府においては、引き続き、北海道電力管内における需給バランスを注視し、随時、情報提供を行ってまいります。停電の全域解消をできるだけ早期に実現していくため、全力で取り組む所存であるところ、何卒皆様のご理解・ご協力をお願いします。